

非核・脱原発の思いを 香取市（千葉県）に引き継ぐ！！

鹿行平和行進は、みんな元気で、声高らかに！



鹿行地域の平和行進は、7月10日（水）に開催され、茨城県内の最終行進でした。

出発式は、9時から百里公園で開催しました。鹿行平和行進実行委員長の風間さん、原水協会長の加藤さん、百里反対同盟の梅沢さん、地元議員の福田さんと多彩な顔ぶれの挨拶がありました。百里平和委員会の会員を含め、総勢45人余が結集しました。

出発式終了後、一行はバスや宣伝カーに分乗して移動、途中から行進して銚田市にはいり、市の歓迎を受けました。その後、行方市に行進して市から歓迎を受けました。

昼休みには潮来市庁舎の会議室お借りし、潮来市職員組合の方々との準備で、昼食と交流会を行いました。交流会では各人が自己紹介と一言の挨拶を行いました。

午後の出発にあたり、潮来市の歓迎を受け、市内を行進したあと、鹿嶋市に移動しました。鹿嶋市では内田市長が自ら歓迎の言葉を述べました。最後に神栖市に移動・行進し、神栖市では歓迎同時に例年同様冷えたお茶の出迎えを受けました。

その後香取市に移動し、引き継ぎの式を行いました。最後に、鹿行と香取市の参加者が一緒になって記念写真を撮りました。



【茨城と千葉の参加者が一緒に並んで】

石岡一土浦平和の会コース

猛暑の中、行進団は今年も7月6日（土）石岡駅からかすみがうら千代田庁舎を経て12時半予定通り亀城公園に到着しました。

昼食後の歓迎集会は例年より少なめの50人でしたが、荒川沖駅に4時半に到着して、つば市行進団に引き継ぎました。昼食時、途中休憩時の接待の方、行進参加の皆さまお疲れ様でした。



◆石岡平和の会

7月20日～31日 「原爆写真展」
小美玉市みの～れにて開催中



いっそう深刻になっています。安倍内閣の政策と国民との矛盾は一層深まらざるを得ません。

私たちは、国会内の勢力のいかににかかわらず、平和や生活の破壊を決して許さないという決意のもと、草の根からのとりくみを、さらに進めていきましょう。

揺るぎない決意で平和運動を！

参議院選挙の結果について

茨城県平和委員会

7月21日（日）に行なわれた参議院選挙は、憲法「改正」に強い意欲を持つ安倍首相が率いる自民党が圧勝しました。マスコミによる選挙前の意識調査では、「投票する」もしくは「したい」とする人が90%以上だったにも関わらず、投票率は52.61%で、戦後3番目の低さでした。

原因はいろいろ言われますが、1つは自民党による「争点隠し」です。自民党は、憲法「改正」や集団的自衛権の発動、原発再稼働の推進、消費税増税、社会保障費の削減、TPPへの参加、働くルールの改悪、普天間基地の辺野古移設等々、国民の生活と平和を大きく破壊する政策を打ち出しました。ところが選挙戦にはいると「アベノミクスによる景気回復」と「衆参両院のネジ

レ解消」ばかりを声高に叫び、国民の生活破壊に直結するこれらの政策は、触れることすら避けてきました。

2つ目は、マスコミが、あたかも自民党の選挙戦略に呼応したように、自民党の争点隠しを助長し、「景気回復」と「ネジレ解消」を争点とし、その上で空前の「自民党圧勝」キャンペーンを張ったことです。このような国民の投票意欲に大きく水をさす報道が行われたことも非常に大きく影響しました。安倍首相をゲストにして、好き勝手に語らせる番組も目に余りました。

しかし一方では、右傾化した自民党に対し、真っ向から対決した共産党が躍進しました。さらに、「衆参のねじれは解消した」といわれますが、国民多数の声と自民党政治の「ねじれ」は、

平和新聞

2013年7月25日（金曜日）

2023号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

No. 661
2013.7/25

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

私の戦争体験

東京大空襲



高久 清 (土浦平和の会平和の会)

.....

私の戦争体験は、東京大空襲の業火の中を逃げまわったことである。私が2歳少し前のことであるから、記憶は全くない。しかし、姉の話は何度も聞くうちに、自分が体験したような気になっている。当時、父は墨田区駒形で砂糖問屋を営んでいた。東京大空襲の日、消防隊に行ったが、もう火は消せないということで帰宅し、リヤカーに家財を積んで逃げ出した。逃げたのは、父母、長女、すぐ上の姉、それに私の5人である。子供は7人であったが、5人は学童疎開をしていた。私は、長女の背中、すぐ上の姉は母の背中である。墨田公園に行くと、もう人が一杯で入れない。錦糸公園や周辺の学校に行ったが、

いずこも同じである。火に追われながら逃げ惑っていると、火の消えた方向に逃げろ、という声を聴いた。江東区の方角はすでに燃え尽き暗くなっている。その方向に逃げる。途中、道端には焼けた馬の死骸がころがっている。小松川橋を渡り、一之江の親戚にたどり着いた。その後、船橋の知人を頼って疎開した。疎開先の生活は極貧であった。

後年、早乙女勝元著「東京が燃えた日」(岩波ジュニア新書)を読み、この記憶はさらにリアルなものになる。東京大空襲は、1945年3月10日未明。火は、強風に煽られ、猛烈な渦を巻き、地表を火の海とし、川面を這い、すべてを焼き尽くした。公園や学校にいた人、業火に追われて川に入った人もみんな焼死した。死者10万人。「米軍の下町火炎包囲網皆殺し作戦」とでも命名したい。神権天皇制がもたらした無責任無謀極まる戦争による想像を絶する悲惨な結末である。年々記憶が薄れていくが、忘れてはならないことである。

「平和パネル展の開催」 紹介 (7/23 現在)



- ◆ 北茨城 8/18 (日)
「写真・福島は今」展 (夏祭り会場にて)
- ◆ 日立 7/27 (土) ~ 28 (日)
「原爆と人間」展
- ◆ 大宮 8/5 (月) ~ 16 (金)
「原爆と人間」展
- ◆ 那珂 8/3 (土) ~ 11 (日)
「宣伝カーによる市内平和宣伝」行動
8/24 (土) ~ 25 (日)
「原爆と人間」・「憲法」展
- ◆ 藤代 8/6 (火) ~ 9 (金)
「原爆と人間」展
- ◆ 取手 8/17 (土) ~ 19 (日)
「原爆と人間」展
- ◆ 水戸西 8/10 (土) ~ 11 (日)
「原爆と人間」展
「シベリア抑留」展・「憲法」展

- ◆ 東海 8/11 (日)
「原爆と人間」展
- ◆ 城里 8/9 (金) ~ 11 (日)
「原爆と人間」展
- ◆ 石岡 8/1 (木) ~ 15 (木)
「原爆と平和」の写真展
「原爆と人間」展
- ◆ 小美玉 7/20 (土) ~ 31 (水)
「原爆と人間」展
- ◆ 内原・友部 7/30 (火) ~ 8/11 (日)
「戦時下の子供」「地域の戦跡」「原発事故」展
- ◆ 常陸太田 8/6 (火) ~
「満蒙開拓団」展
- ◆ 守谷 8/8 (木) ~ 14 (水)
「沖縄戦と沖縄基地問題」展
- ◆ 荃崎 8/3 (土) ~ 7 (水)
「沖縄問題」展

[シリーズ] わが街・わか会員

* 今回は、日本平和委員会・平和新聞編集部の西村 美幸 さんに寄せていただきました。

茨城の会員のみなさまへ



世相を反映してか、最近また靖国神社のガイドの依頼が増えてきました。暑い盛りに、境内に1時間、遊就館に1時間ほどかけ、私はしゃべり倒すと言っていいほどよくしゃべります。2時間では到底案内しきれませんが、こちらの気力がもつのもそれくらいが限界のようです。

どのようにして靖国神社が生まれたか、誰がまつられていて・誰がまつられていないか、靖国の持つ歴史観はどんなもの? などなど、クイズも交えて説明します。未熟ですが、関心のある方はぜひ声をかけてください。



【写真の説明：09年8月15日の靖国神社】

- ◆ 阿見 8/16 (金) ~ 18 (日)
「原爆と人間」展
「沖縄問題とアジア」展
- ◆ 土浦平和の会 7/30 (火) ~ 8/6 (火)
原爆と人間 (パネル展)
8/4 (日) 「ピース・デー」として、朗読会・映画会・原水禁大会平和使節団 (中学生) との交流会
8/15 (日) 「平和の集い」として、紙芝居・東京大空襲の体験談を聞く会
映画「ガラスのウサギ」上映会